

# 井原民報

第115号  
発行所  
日本共産党  
井原市議事務所  
井原市井原町103  
TEL 62-6200  
FAX 62-6209

井原市議会十一月定例会が、十一月三十日から十二月二十二日まで開かれ、市長提案の八会計補正予算など十六議案のすべてを、全会一致で可決しました。この度も、九月議会と同じく、十五議員が一般質問を行いました。森本ふみお市議は、平成元年六月議会以降連続八十三回目の質問をしました。

## 森本市議が市民の声を採り上げ質問した次の6件が来年度実施に

**質問** 市内全幼稚園で来年度一斉に給食の実施を。

**答弁** 出部幼稚園は改築の予定なので、改築後の実施を考えている。出部以外は、給食配送ルートの調整、搬入の確保、コンテナ室の新設、食器等の整備、喫食時間の調整などについて前向きな協議・検討をしており、来年度の夏休み明けまたは後期の一斉実施を目指している。

**質問** 地区公民館に常勤者(公民館主事)を来年度一斉に配置を。

**答弁** 来年度6月頃から配置できるような事務を進めている。勤務形態は、井原公民館同様、週32時間勤務で報酬は15万円だと考えている。

**質問** 西江原幼稚園の駐車場の舗装を。

**答弁** 来年度の事業として、夏前までには工事を発注していきたい。

**質問** 肺炎球菌ワクチン接種者に助成制度の創設を。

**答弁** 実施時期、方法等詳細について、医師会と調整を図り、平成22年度の早い時期に実施したい。

**質問** 公共施設の敷地内では禁煙を。

**答弁** 一般公共施設の敷地内禁煙は難しいが、更に分煙に努める。学校関係施設では来年度から実施したい。

**質問** 「市民活動総合補償保険」制度の充実・改善を。

**答弁** 平成22年度から往復途上の事故も対象とする。給付保険金額引き上げの充実については、現時点では考えていない。



質問する森本市議

### 2009年(平成21年)井原市議会11月定例会での質問議員の項目

- 川上 泉議員 ◆井原市行財政運営の基本的考え方について
- 佐藤 豊議員 ◆脳脊髄液減少症について ◆救急医療情報キットの普及について ◆遊休農地・荒廃農地の拡大抑制対策について ◆児童虐待抑制体制の本市の現状について
- 西田 久志議員 ◆野上町青少年研修広場及び青野町葡萄浪漫館多目的広場の整備と有効利用について
- 三輪 順治議員 ◆新年度の予算編成について ◆定住自立圏構想の推進について ◆市長の公約である「健康寿命日本一」について
- 坊野 公治議員 ◆消防団の団員確保について
- 馬越 宏芳議員 ◆介護予防と地域支え合いによる生活支援システムづくりについて ◆有害鳥獣被害の現状と今後の対策について
- 水野 忠範議員 ◆障害者の支援について
- 宮地 俊則議員 ◆市議会の「地域医療等を考える調査特別委員会」の報告書に対するその後の対応について ◆新型インフルエンザ対策について
- 藤原 清和議員 ◆(仮称)福祉支援券の発行について ◆桜橋の架け替えについて ◆井原市B&G海洋センターのカヌー練習場について
- 鳥越 孝太郎議員 ◆グラウンドゴルフ場の整備について
- 藤原 浩司議員 ◆公共工事における本年度及び6月・9月補正予算での執行状況及び平成22年度の考えについて ◆ごみ有料化に対する有料ごみ袋の今後の取り組み及びリサイクルに関する考えについて ◆し尿を含む一般廃棄物収集運搬委託事業に関する考えについて
- 上野 安是議員 ◆教育予算の拡充について ◆学校図書館の充実について ◆幼稚園(幼児園も含む)の教職員数の拡充と採用基準の見直しについて ◆市内小学校へのスクールカウンセラー設置について ◆学校生活支援員の拡充について ◆児童虐待防止について
- 森本 典夫議員 ◆市長は市民のため、民主党の陳情等一元化に毅然と反対の意思表示を ◆ロコモティブシンドローム(運動器機能低下症候群)の対策を策定し、普及と啓蒙を ◆市民活動総合補償保険制度の充実・改善を ◆市内の小学校の余裕教室の有効利用を ◆本庁の情報プラザのパソコンの更新を ◆美星町内に児童会館の建設を ◆これまでの私の質問で、その後の検討結果は ①市内全幼稚園で給食の実施を(来年度一斉に実施を求めます) ②地区公民館に常勤者(公民館主事)の配置を(来年度一斉に実施を求めます) ③市内の公共施設(幼保、小、中、高校を含む)の敷地内での禁煙を ④肺炎球菌ワクチン接種者に助成制度の創設を ⑤西江原幼稚園の駐車場の舗装を ⑥各学校すべてに兼務でない学校図書館司書の配置を
- 實戸 利昭議員 ◆文化資源を活用した観光行政の推進について ◆小規模高齢化集落における交通手段の確保について ◆耕作放棄地対策について
- 河合 建志議員 ◆当市の予算編成に「事業仕分け」の手法の導入を ◆省庁への陳情一元化の対応について





先ず市長の考えを

この要望書提出は、新年度(平成22年度)の予算編成に入る今の時期、市民の声を要望書としてまとめ、毎年行っているものです。今回は、135項目の要望です。

10月29日午後3時から日本共産党井原市委員会(森本ふみお委員長)のメンバー16人が瀧本市長を訪ね「平成22年度予算編成にあたっての要望書」を手渡しました(写真)。

### 日本共産党が市長に要望書を渡す

井原市議会11月定例会で、平成21年度の一般会計補正予算(この度は、職員の異動及び人事院勧告による給与の改定などで、1億5,248万余円の減額があり、補正予算総計で7,210万円の減額)他7会計の補正予算など16議案が提案され、すべて全会一致で原案通り可決しました。一般会計の追加加算された歳出(支出)の主なものをお知らせいたします。

- 335万円・・・全国瞬時警報システム受信設備整備業務委託料
- 5,700万円・・・介護給付費・訓練等給付費
- 1,500万円・・・市立保育園保育実施委託料
- 1,390万円・・・自立支援医療給付費、生活保護システム再構築業務委託料
- 1,865万円・・・農業用施設改良工事費(水路3箇所、ため池1箇所)
- 3,074万円・・・市債償還元金
- 379万円・・・病院事業会計補助金(院内保育所運営費)
- 1,390万円・・・生活保護システム再構築業務委託料

師走に入り、今年もあとわずかとなりました。皆様には、今年一年大変お世話になりました、ありがとうございました。

夏の衆議院選挙で、主権者・国民は、自・公政治を退場させる審判を下し、民主党政権が誕生しました。日本共産党は、民主党政権の良いところは賛成し、間違ったことには反対し、問題点は正すという「建設的野党」として頑張っています。

来年夏には参議院選挙があります。政治を動かすのは、国民・市民の力です。

私は、国政でも井原市政でも、皆様と力を合わせ、憲法と平和を守り、地域経済と住民の暮らしを守るため、引き続き奮闘いたします。

来年もどうぞよろしく願っています。

二〇〇九年(平成二十一年)十二月  
井原市議会議員 森本典夫

井原市議会定例会 一般質問状況一覧

議員名	平成21年			質問回数
	6月	9月	11月	
坊野 公治		○	○	2
藤原 浩司	○	○	○	3
上野 安是	○	○	○	3
實戸 利昭	○	○	○	3
西田 久志	○	○	○	3
馬越 宏芳		○	○	2
三輪 順治		○	○	2
大鳴 二郎	○	○		2
水野 忠範			○	1
川上 武徳		○		1
宮地 俊則		○	○	2
佐藤 豊	○	○	○	3
井口 勇		○		1
森下 金三				
河合 建志	○	○	○	3
鳥越孝太郎			○	1
川上 泉	○	○	○	3
高田 正弘	議長			
藤原 清和			○	1
森本 典夫	○	○	○	3
藤原 正己				
乗藤 俊紀				
質問者合計	9	15	15	39

◆教育予算の拡充を求める意見書の採択を求める請願・・・採択

## 請願の結果

### いばらサン交流館 3月に一般公開

老人福祉センターを倒して建設中の「いばらサン交流館」(写真)が2月に完成し



4月オープンの予定です。

15日の市議会市民福祉委員会で、森本市議が「オープンまで何日か市民に見てもらおうため、公開してはどうか」と提言しました。

これに対し「3月の或る時期に一般公開したい」との考えが示されました。

## 子どもの医療費(入院) 新年度から中学校卒業まで無料

この度の井原市議会の、瀧本市長が「泉議員の質問に答えて、新年度から中学校卒業まで入院費用を無料にする」とことを明らかにしました。

現在、入院・外来とも無料です。小学校3年修了まで一貫して中学校卒業まで引き上げてを求めたい

森本市議の無料なんでも

### 生活相談

とき 毎週月曜日 午前10時~12時

ところ 日本共産党市議事務所 井原町103

でんわ 62-6200 (党市議事務所) 62-6061 (森本ふみお宅)